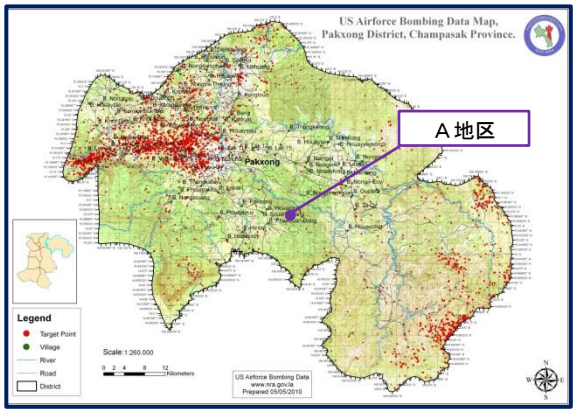
事業の成果に関する活動写真報告　　別紙5

１．農業予定地200haの安全化

（１）チャンパサック県パクソン郡バーヌアンドン村周辺（Ａ地区46.1ha+Ｂ地区149.0ha=195.1ha）

（ア）A地区：46.1ha



事業開始当初に安全化を行ったＡ地区（46.1ha）の農業予定地では、ブルドーザーによる整地作業が行われ生薬原料栽培が行われる環境が整えられている。

Before

作業前の様子

2012年8月

After 1

探査終了後

2012年11月

After 2　整地後の景況　　2013年5月

※2013年3月から整地作業が始まりブルドーザーでの整地作業が行われている。

Before

作業前の様子

2012年8月

After 1

探査終了後

2012年11月

After 2

整地後の景況

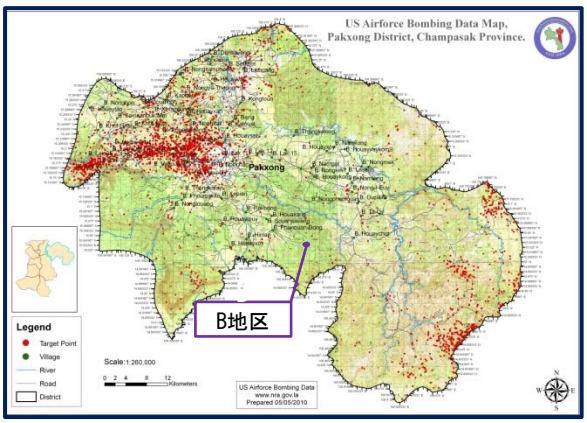
2013年6月

Before 作業前の様子　2012年8月

After 1 探査終了後 2012年12月

After 2 整地後の景況　2013年6月

（イ）B地区：149.0ha



現場までの道は悪路も多く、水没することもあり、雨季には車両での移動が困難となった。

Before　作業前の様子　2012年8月

After　探査終了後　2012年12月

Before　作業前の様子（伐開作業の様子）　2012年8月

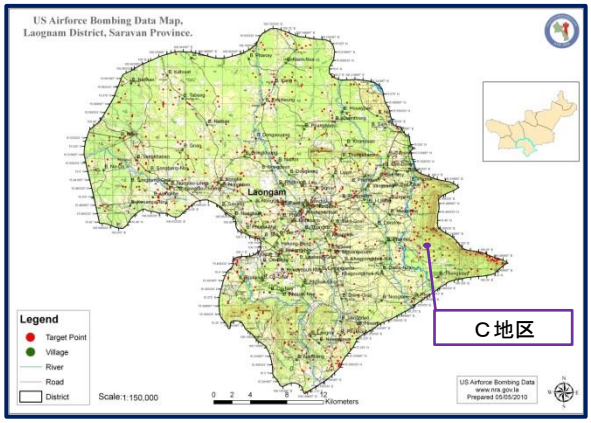
After　探査終了後　2012年12月

Before 作業前の様子　2012年8月

After 探査終了後 2012年12月

（２）サラワン県ラオンガム郡トンスイ村周辺

（ア）C地区：4.9ha



Before

作業前の様子

2012年11月

After

探査終了後

2013年7月

C地区では、安全化した土地で生薬原料栽培の試験が開始されている。

（３）実施概要

（ア）探査地域の測量及び径始

GPSを使用して座標の確認を行う
ＪＭＡＳ専門家

測量結果を地図で確認を行うＪＭＡＳ
専門家

（イ）伐開作業
処理員に加え地域住民を雇用し伐開作業
を実施

（ウ）探査
1次探査、金属探知機「Vallon VMXC1-3」
を使用し深度30cmの探査を実施

2次探査、金属探知機「CEIA MIL D1」を
使用し深度2mの探査を実施

処理員に探査指導を行うＪＭＡＳ専門家

（エ）掘削

金属探知機で反応があったところを掘削し確認を行う

70mmロケット弾の破片①

70mmロケット弾の破片②

弾丸と薬きょう

爆弾の破片

２．安全化された土地の活用状況

前事業で安全化された農業用地では、本邦企業の生薬原料栽培が開始され地域住民の雇用が創出されている。

枯れ木を集める住民

送迎車に乗り合う住民

枯れ木を集める住民

サラワン県ラオンガム郡トンスイ村の生薬原料栽培

３．調整会議実施（パクソン郡会議室：2013年2月14日）

事業関係者に事業概要の説明を行う現地統括代表

土地取得に関する課題について意見交換を実施

現場視察において事業関係者に説明を行うＪＭＡＳ専門家

チャンパサック県副知事、事業関係者による現場視察

４．その他

（ア）国家調整委員会(NRA)長官視察※

チームリーダー（不発弾処理業者）が国家調整委員会(NRA)Phoukhieo CHANTHASOMBOUNE長官に事業説明を実施

（イ）土地安全化完了の報告

チャンパサック県に対して本邦企業、不発弾処理会社とともに、土地の安全化を報告

※国家調整委員会=NRA：National Regulatory Authority